

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容																
事業者名	株式会社 minitts 代表取締役 中村朱美																
補助事業テーマ	佰食屋のゴーストレストラン																
事業実施期間	令和2年10月12日 ～ 令和3年2月28日																
事業の目的	<p>① デリバリー利用率を8%→15%に向上させる</p> <p>② 自粛期間中でも飲食店が自助努力で経営を続けられる環境づくり</p> <p>③ 京都におけるデリバリー利用率を向上させる</p>																
事業の実績(成果)	<div data-bbox="491 678 1189 1086" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="470 1108 1117 1288" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■ デリバリー利用率</th> <th colspan="2">■ テイクアウト利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年12月</td> <td>7.79%</td> <td>2020年12月</td> <td>29.00%</td> </tr> <tr> <td>2021年1月</td> <td>5.48%</td> <td>2021年1月</td> <td>83.93%</td> </tr> <tr> <td>2021年2月</td> <td>4.98%</td> <td>2021年2月</td> <td>61.44%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>① デリバリー利用率は緊急事態宣言下においても低下した。一方でテイクアウト専用商品については、緊急事態宣言発令後から大幅に利用率が増加した。</p> <p>② デリバリーの普及は難航する一方で、テイクアウトについては非常に可能性を感じた。まだテイクアウト商品が無い店舗には啓発をしていきたい。</p> <p>③ 京都という土地においては、① 関西は [もったいない精神] がかなり強い地域のため、デリバリー料の支払いに抵抗がある、③ 京都は車文化であるため、デリバリーの必要性を感じない、④ 現金で支払いたい(クレジットカード払いが嫌い)、⑤ デリバリーサービスへの個人情報登録をしたくない等が調査により明らかになり、現時点において早急なデリバリーの普及は難しいと感じた。</p>	■ デリバリー利用率		■ テイクアウト利用率		2020年12月	7.79%	2020年12月	29.00%	2021年1月	5.48%	2021年1月	83.93%	2021年2月	4.98%	2021年2月	61.44%
■ デリバリー利用率		■ テイクアウト利用率															
2020年12月	7.79%	2020年12月	29.00%														
2021年1月	5.48%	2021年1月	83.93%														
2021年2月	4.98%	2021年2月	61.44%														
今後の展望	<p>テイクアウト商品開発においては、【美味しい】だけでなく、別の付加価値を付けると販売促進されると実感した。(例：期間限定、コラボ、希少食材、会員制、招待制など) 今後はテイクアウト商品開発強化のみならず、日持ちのするネット販売や配送に対応できるような商品も開発し、感染拡大時だけでなく災害時にも対応できるよう準備・他店舗への啓発をしたい。</p>																